協力：風早活性化協議会

オオキチくん通信

こんにちは！オオキチくんです！
オオキトンボのことを「はじめてきいたよ」という人もいると思うので、あらためてしょうかいするね！

2022年5月号
発行：NPO法人森からつづく道
URL:http://morimichi.org/
★上記HPからダウンロードできます

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて作成しています。

きみはオオキトンボを知っているかな？

オオキトンボの5つのポイント

1. からだ全体（ぜんたい）がオレンジ色
2. 大きさは5cmくらい
   （シオカラトンボより少し小さい）
3. アカトンボのなかま
4. 日本の8つの県（けん）にしかいない、絶滅（ぜつめつ）が心配（しんぱい）されているトンボだけど、
   北条にはまだたくさんいる！
5. 秋に水が少なくなるため池に産卵（さんらん）して、幼虫（ようちゅう）が育つ

オオキトンボ

オオキトンボの幼虫

（武智礼央）

★アカトンボの仲間たち★

【ネキトンボ】

【リスアカネ】

【マユタテアカネ】

【アキアカネ】

ナガサキアゲハ

成虫（メス）

幼虫（ようちゅう）の目玉もようは実はニセモノ。本当の眼（め）はとても小さく、前方（ぜんぽう）にあります。さわるとくさいオレンジ色の角（つの）を出しておどかしてきます。成虫（せいちゅう）のオスはつやのある黒色、メスには赤や白のもようがあります。後ろ翅（ばね）にアゲハチョウによく見られるのしっぽのようなでっぱりはありません。温暖化（おんだんか）のせいか、北の地域（ちいき）でも見られるようになりました。

（武智礼央、成虫写真：若山勇太）

ようこそイモムシワールド！

あのムシは今？！【シマハナアブ】

一見（いっけん）、ニホンミツバチに見えるのですが、翅（はね）をよ～く見てください。2枚しかありませんね。ハチの仲間（なかま）は4枚で、ハナアブの仲間は2枚なんです。
幼虫（ようちゅう）はよごれた水の中に生息（せいそく）し、くさった植物を食べているそうです。意外（いがい）とエコなんですね。

（文：若山勇太、写真：武智礼央）

今が旬！
生きもの情報

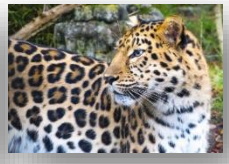
ツマグロヒョウモン

パンジーの上をひらひら飛ぶ美しいチョウ

トゲはやわらかく、さわってもいたくないよ

学校や庭（にわ）に植（う）えられているパンジーやビオラに黒色と赤色で体中にトゲがあるイモムシがいたら、それはツマグロヒョウモンの幼虫（ようちゅう）。見るからに危険（きけん）そうですが、さわってもだいじょうぶ。
幼虫はパンジーなどスミレのなかまの葉を食べ、やがてサナギになります。
サナギには銀色（ぎんいろ）のトゲがあります。

パンジー※



アムールヒョウ※

はねはヒョウがら

成虫（せいちゅう）になるとオスとメスはちがう姿（すがた）をしています。
はねの先が黒くて白いすじがあるほうがメスです。

◀カバマダラ

（写真：武智礼央、※：フリー画像）

ツマグロヒョウモンのメスは、体に毒（どく）があって鳥などに食べられないカバマダラというチョウの姿（すがた）に似（に）せていると言われています。これを擬態（ぎたい）といいます。

草 花 であそぼう！

山あいに自生（じせい）し、竹のように中心が空洞（くうどう）の「すかんぽ」ともよばれるイタドリのくきの部分を使って、手おけ・ひしゃく・花おけを作ってみよう！
切れこみを入れて、取っ手の部分はつまようじで。

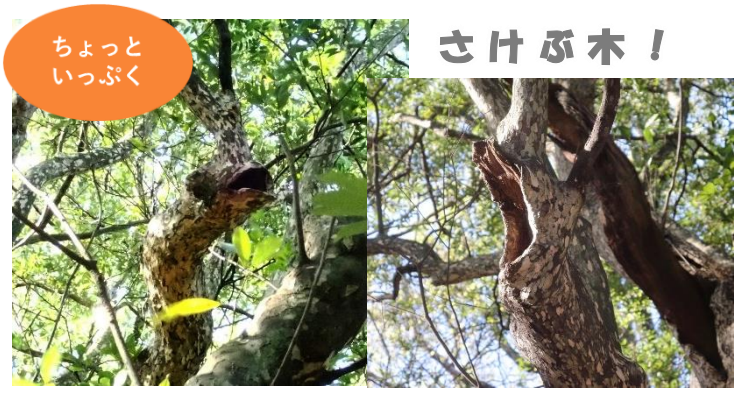
空洞のくきの両側（りょうがわ）に4か所切れ込みをいれ、竹ぐしをさしてしばらく水につけておくと、そり返ります。流水（りゅうすい）に近づけるとクルクルまわる水車（すいしゃ）になるよ。

今月の植物★ツルナ

海岸（かいがん）の砂浜（すなはま）などに生育（せいいく）します。別名（べつめい）はハマヂシャで、葉はゆがいてあえものなどにして食べられます。ニュージーランドのマオリ族（ぞく）が食べていたといわれ、「ニュージーランドのホウレンソウ」という名前もあります。

ちょっといっぷく

さけぶ木！



鹿島（かしま）の森にあるカゴノキの大木です。
枝先（えださき）がかれ落ちて、まるで恐竜（きょうりゅう）がさけんでいるみたい。

そうやったんかい！外来生物 ㉞

コバンソウ

ヨーロッパ原産のイネ科の植物。空地（あきち）や砂浜（すなはま）などに見られます。実が小判（こばん）のようなので、この名があります。なかまにずっと小がたのヒメコバンソウがあるので、さがしてみよう。